

御毛け下構内に於ケア事務官室に開設會事を催さる事
大金の効率車所福山分工場の問題は如何にて取扱
(金の福山分工場は會社の清賃事業を爲す
しのれに本守護の發生と同時に左工修職工三四。
名は守護の是れからして之なり)

此の賃書が協定せらる。故職工側は午後六時九
川傳通院に職工大會を開き滿席一致にて起立或
敵會し會化倒れり又職工長江不二石子千丸に對し
賃書を呈表し守護が漸く解決せることあるから
者尼善と此の際自守護の復職職工善と
共同一化され能あると之を説得せらる。元々

章漢里貢の示威的行動へ加之る事務所は
職工組合を認めざる趣旨又復職工は淮衡の上級用
事務官言明しこと不拘組合を是認する第其協定は解消
または是と今後之進退に付ける事の大不安を感じるもの有
て絶對立對立の旨を述べ辞去し尚忠義耀(後近朝
次鈴木襄三郎外三多代表は元山を訪問由也協定の
不完全なるを陳情したるに石川し之を證とし可逆二万円
を請求するを約し會見を終りえむが今後如何は其の善
後如何に就く一先お賃書を調印を無期延定期ある
ととありたり斯くて其の請業職工善は十九日作業を停
止し工場や工場太倉を冗談し次り如き決議をなす
成會社に掲出せり